

# 進行中の基幹研究プロジェクト

## おもな活動実績

C-09-Init 循環

### 統合的水資源管理のための「水土の知」を設える

本研究3年目 プロジェクトリーダー 窪田 順平

## 風水土 イニシアティブ

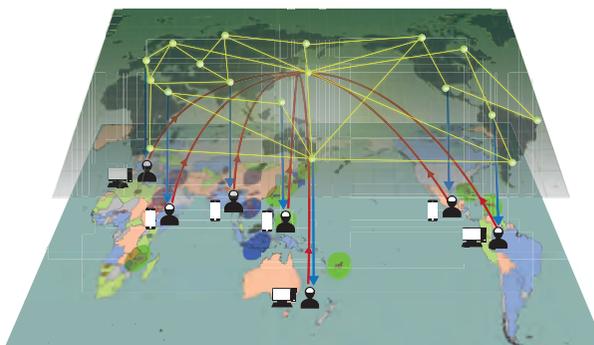
約20年前に提唱された統合的水資源管理は、現実の水問題解決に十分寄与しておらず、人間活動が及ぼす影響の地球規模での評価と社会への適用という点で課題を抱えています。この課題を克服すべく、研究対象地域にてステークホルダーと協働して水管理の調査・研究を進めています。最終的には、その知見を統合して地球規模での水資源アセスメントを実施するとともに、それに基づいた管理の指針を地域に提示することをめざしています。



主なフィールド  
トルコ、インドネシア、琵琶湖湖東地域(日本)、エジプトなど

### 「Consilience Cyberspace = “科学と社会の共創” で知を統合するサイバー・プラットフォーム」

地球研プロジェクトの研究成果を基盤に電腦空間(cyberspace)で世界各地域のステークホルダーと協働で知を統合するための超学際プラットフォーム構築事業を展開しています。このため、知の統合を探るためのオンライン調査(rhn-consilience-census.com)と並行して、世界各地の環境観や超学際活動の形成過程を追跡するスマートフォン用アプリ「Consilience Cyberspace」の開発に着手しています。



# 未来設計 イニシアティブ

The Futurability Initiatives

E-05-Init 地球地域学

### 地域環境知形成による新たな コモンズの創生と持続可能な管理

本研究2年目  
プロジェクトリーダー 佐藤 哲 / 共同リーダー 菊池 直樹

## 山野河海 イニシアティブ

生態系サービスの劣化など地球環境問題の解決には、地域の実情に即したボトムアップの取り組みが重要です。地域の人々による取り組みの基礎となる新しい知識の構造として、科学知と人々の生活のなかで培われてきた多様な知識体系が融合した「地域環境知」に着目します。世界各地の事例を収集分析し、地域環境知の形成、流通のメカニズムと、それを生かした順応的ガバナンスのあり方を探求します。



主なフィールド  
屋久島、知床、石垣島知保、綾町、フィジー、アメリカ領パージン諸島、フロリダ州サラソタ湾、マラウイ湖

### 基幹FS(予備研究) / FR(本研究)立ち上げ事業

- 基幹研究ワークショップ

### 未来設計イニシアティブ事業

- 基幹研究ハブ勉強会
- 未来設計イニシアティブセミナー
- 基幹プロジェクトシンポジウム

### CR(終了プロジェクト)フォローアップ事業

- CR事業

## 風水土 イニシアティブ

GAIA

## 山野河海 イニシアティブ

OIKOS

## 生存知 イニシアティブ

ETHOS

R-08-Init 資源

### アジア環太平洋地域の人間環境 安全保障 - 水・エネルギー・食料連環

本研究1年目  
プロジェクトリーダー 谷口 真人 / 共同リーダー 遠藤 要子

## 風水土 イニシアティブ

アジア・環太平洋縁辺域では、アジアモンスーンの気象・水文条件と、火山地熱地域の地質・地形要因および歴史社会的要因などにより、そこに暮らす人々や社会への利益・サービスとリスクが共存し、水・エネルギー・食料連環によるさまざまな地球環境問題が存在します。複合的な人間環境安全保障を最大化するために、環境ガバナンスの構造と政策の最適化の方法を提示します。



主なフィールド  
日本、インドネシア、フィリピン、カナダ、アメリカ

## 総合地球環境学研究所

連絡先  
〒603-8047 京都市北区上賀茂本山 457-4  
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
総合地球環境学研究所 未来設計イニシアティブ  
TEL075-707-2504 (代表)  
E-mail: futurability@chikyu.ac.jp



# 未来設計イニシアティブの目標

未来設計イニシアティブは、認識科学的アプローチを横断的に統合する設計科学的アプローチを重視します。人間と自然系の相互作用環の多種多様な形態を把握したうえで、未来可能な社会制度を設計します。とくに、世界各国で目標に掲げられている未来設計のシナリオ（循環型社会、低炭素社会、自然共生社会など）を検証し、社会のあるべき姿について提言します。

現在、3つのイニシアティブ（風水土）〈山野河海〉〈生存知〉が連携し、設計科学を実践しています。

## 風水土 イニシアティブ

自然と社会がグローバルに変動するなかでの未来設計には、人間と自然のバランスが適切に機能する社会を構想することが重要です。

風水土イニシアティブでは、物質圏を人間の生存と社会文化の存在基盤ととらえ、過去・現在・未来を往還し、地域と地球の統合理解のもとで、地球環境の変化に柔軟に対応する人間圏を設計します。また、自然の恩恵の増大と災害被害の軽減をバランスさせるための地域の環境基準と許容限界を策定し、科学技術を生かした未来可能性を考究します。

## Foci

- 未来可能性
- 設計科学
- トランスディシプリナリティ
- 地球システム
- 統合知

地球環境問題に関する統合知 (consilience) を介して総合地球環境学を構築することが地球研の大きな使命です。2010年度から始まった第II期中期目標・中期計画では、領域プログラム（循環・多様性・資源・文明環境史・地域地域学）と未来設計イニシアティブを連動させることで地球環境問題の本質を明らかにし、新しいパラダイムによる未来社会のデザインをめざすプロジェクトを立ち上げていきます。

Anthropospheric design within dynamic Earth environments

## Foci

- 物質圏
- 境界・限界
- 環境動態
- 自然災害



撮影・窪田順平

撮影・“風水土明察”制作委員会

## 山野河海 イニシアティブ

人類は数千年にわたって、自然の恵み、すなわち生態系サービスを、環境容量や自然復元力を超えて過剰に利用してきました。

山野河海イニシアティブでは、生物圏から提供される生態系サービスと、生態系を持続的に利用してきた技術・知恵・文化の統合理解のもと、環境負荷が低く豊かな生活を実現するのに必要なしくみを提言します。とくに、環境経済に係る格差問題を解決するために、生態系から得られる利益を適切に享受し、未来に向けて公平に分配する方法を探求します。

Linking commons and community for long-term maintenance of ecosystem services

## Foci

- 生物圏
- 生態系サービス
- 環境経済
- コモンズ



撮影・小坂康之

撮影・幸田良介

## 生存知 イニシアティブ

地球環境問題の根本は、人口と生産を急激に伸ばしてきた人間活動、さらにはそれを促してきた精神的価値観にあります。

生存知イニシアティブでは、食と健康を希求してきた人間活動と環境の関係の統合理解に基づき、多様な文化や環境のもとでの人間のよりよい生き方を提言します。具体的には、国家、地域、個人レベルにおける生産のありかた、食料消費や医療をめぐる倫理などの問題について、求められる制度の設計をおこないます。

Enhancing human capability and capacity for coexistence

## Foci

- 精神圏
- 生産
- ライフスタイル
- 健康と医療
- 食



撮影・阿部健一

撮影・石本雄大

